



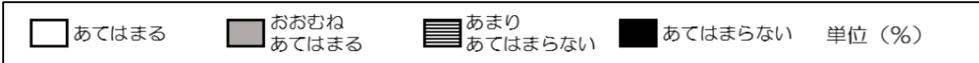
愛宕っ子

令和7年9月30日
旭川市立愛宕小学校
学校だより 特別号

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
1学期末に、Googleフォームで回答いただきました「教育に関わるアンケート」の結果を基に、後期の教育活動への取組の方針を検討しましたのでご報告いたします。

保護者の皆様には、教育活動に関わる14の質問をそれぞれのお子さんについて回答していただきました。今期は、3年生以上のタブレット毎日持ち帰りの開始など、学び方に大きな変化がありました。また、学校課題を受けて開始した「アイ愛タイム（仲間づくり・集団づくり）」・「GOGOタイム（運動習慣）」などの取組が3年目に入りました。昨年度との違いが数値に表れているところは、考察に示すようにしました。

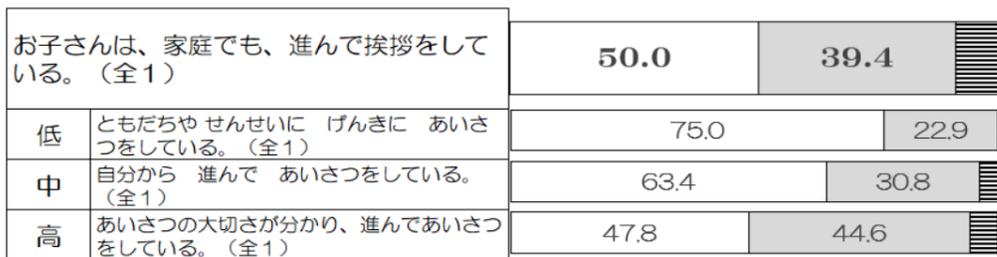
今後は、方針を基に後期の教育活動に取り組んでまいります。後期も愛宕小学校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。



【前年度との比較について】

「外遊び」などの季節によって前期・後期で回答が異なる項目や、「家庭学習の習慣（学年×10分）」などの進級に伴いより高い目標が設定される項目は、条件をそろえるため、前年度の前期との比較を行いました。

季節や進級によらず継続的に変化をみとれる項目は、前年度の後期または前年度の通年の様子との比較を行いました。



昨年度に比べ、保護者の回答は3%程度数値が向上しました。家庭でも進んで挨拶をしている児童が多いことが分かりました。

児童の回答は、昨年度と大きな変化はありませんでしたが、高学年になるにつれて、「進んで」挨拶ができてないと考える児童が増える傾向にあります。

学校では、挨拶の意義について発達段階に合わせて指導し、高学年による児童会活動を通して、児童と一緒に挨拶の呼び掛けをするなど、挨拶のあふれる学校を目指します。



昨年度に比べて、保護者の回答には大きな変化はありませんでした。

児童の回答は、学年が進むほど取組が二極化しています。目標時間が長くなることや、家庭学習の取り組み方に悩んでいるなどの原因が考えられます。

学校では、学年に応じた家庭学習の例を紹介したり、お子さんに合った学習方法を伝えたりするなど、継続して指導していきます。

系列“A”要集“高（上段）”データラベル



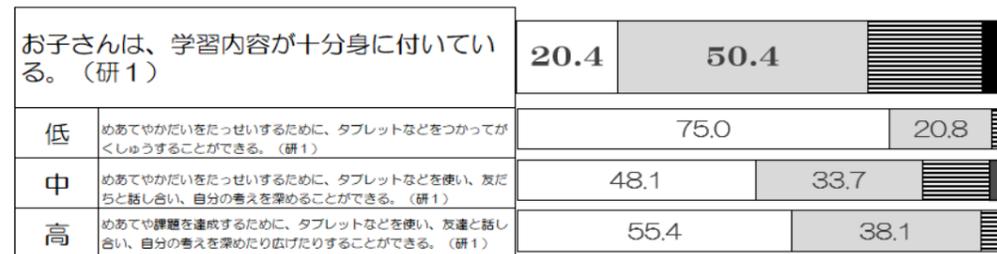
昨年度に比べ、保護者の「あてはまる」回答が10%増えました。多くのご家庭でお子さんのよいところを伝えていることが分かりました。

昨年と変わらず多くの児童が肯定的な回答をしましたが、「あてはまらない」を選択した児童がいたことは憂慮すべきです。誰にでも、「よさ」はあります。これからも、学校や家庭で本人の気付いていない「よさ」を積極的に言葉で伝えていきましょう。



今年度は、昨年度と質問を変えて、お子さんの読書の習慣についてたずねました。「読書の習慣が身に付いていない」と考える家庭が6割以上ありました。余暇の過ごし方や時代の変化もあり、家庭で読書をする児童が少ないことが分かりました。

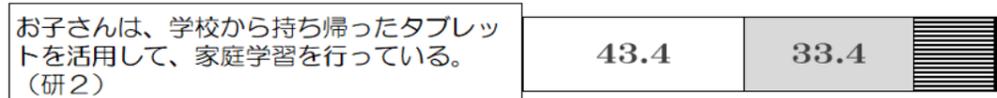
児童の回答は、昨年度の前期と比べると大きく変化はありませんでした。学校は、休み時間の過ごし方や読書週間や委員会活動などで、本を読む活動を推進していきます。



昨年度の前期と比べ、保護者の回答に大きな変化はありませんでした。

児童の回答は、昨年度と違うものなので比較はできません。8割〜9割の児童が、タブレットを使って学習し、自分の考えを深めることができていると回答しています。一方で、否定的な回答をした児童も一定数いました。

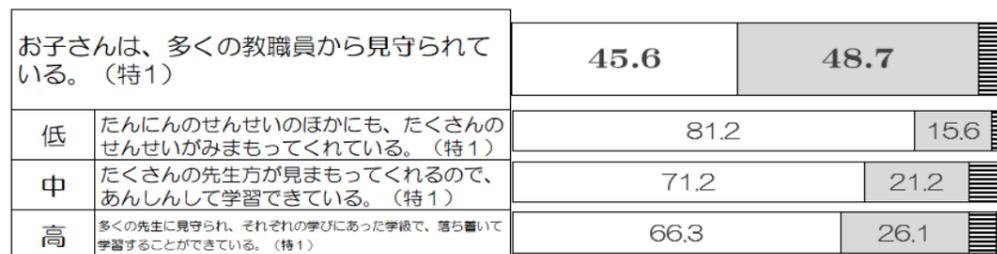
学校としては、2学期も基礎基本の確実な定着に向けて、学びの多様性を活かした授業づくりをしていきます。



※児童への質問はありません。

今年度、新たに設けた項目です。タブレットを毎日持ち帰っているのは、3年生以上からですので、3年生以上の保護者の回答での数値となっています。7割以上の保護者の方が肯定的な回答をしています。

しかし、否定的な回答が2割以上あることを受け止め、学校では、タブレットを使った家庭学習の例などを子どもたちに発信し、タブレットのルールについては継続して指導していきます。



今年度新たに設けた項目です。9割以上のご家庭から肯定的な回答をいただきました。

児童の回答も、すべての学年で肯定的な回答が9割を超え、多くの教職員に見守られ、安心して学習に取り組んでいる児童が多いことが分かりました。

2学期以降、不安を感じている児童への支援策を検討し、複数の教職員による指導や見守りを行っていきます。

お子さんは、学校のきまりを守って生活している。(生1)		43.4	53.5
低	がっこうのきまりをまもってせいかつしている。(生1)	65.6	32.3
中	学校のきまりを守って生活している。(生1)	56.7	35.6
高	きまりを大切に、充実した学校生活を送れるよう、自分で考えて行動することができる。(生1)	56.5	35.9

保護者、児童ともに、肯定的な回答が9割を超え、昨年度とほぼ同様の結果となりました。
多くの児童が「きまり」を大切にしていると考えられます。
学校は、今後も「愛宕のよい子」や生徒指導だよりを使って、いろいろなきまりの必要性やきまりを守らないとどうなるかを考えさせながら、「社会」の中で生きていくために必要なことを指導していきます。

お子さんは、学校に楽しく通うことができている。(生2)		54.4	42.0
低	ることをたのしむことができている。(生2)	85.4	12.5
中	アイ愛タイムなどをとおして、友だちとの交流を楽しむことができている。(生2)	74.1	20.2
高	話を聞いて交流することを 楽しむことができている。(生2)	66.3	28.3

昨年度の前期と比較して、ご家庭の肯定的な回答が4%増加しました。
また、多くの児童が「アイ愛タイム」を楽しんでいることがわかりました。自他の感情に気付き、集団で行動する力を育む「アイ愛タイム」(構成的グループエンカウンター)の取組は3年目になります。今後も取組を継続し、児童が学校に楽しく通うための素地を養っていきます。

お子さんは、事故やけがなど、安全に気を付けて生活をしている。(生3)		46.5	50.4
低	あぶないことをせず、けがなどにきをつけてせいかつすることができる。(生3)	58.3	35.4
中	あぶないことをせず、けがなどに気を付けて生活することができる。(生3)	66.4	24.1
高	周りをよく見て、けがなどに気を付けて生活することができる。(生3)	71.7	22.8

昨年度と同様に、保護者、児童ともに9割以上が肯定的な回答でした。安全に気を付けて生活しようとし、ご家庭でも声掛けをしていたいただいていることがわかりました。
学校では、日常的な安全指導を継続するとともに、自転車の乗り方やヘルメット着用の意義について指導していきます。中学校では、自転車のヘルメット着用が2学期から義務化となっております。安全のためにヘルメットの着用をお願いします。

お子さんは、友達と良好な関係を築き、安心して学校生活を送っている。(対1)		38.5	56.2
低	ともだちとなかよくでき、あんしんしてがっこうに きている。(対1)	69.8	20.8
中	友達となかよくすごすことができ、安心して学校にかよっている。(対1)	72.1	20.2
高	友達との関係がよく、安心して学校に通っている。(対1)	61.9	31.5

昨年と同様に、ご家庭、児童ともに、肯定的な回答が9割を超えました。一方で否定的な回答をした児童が一定数いました。
学校は、否定的な回答をした児童の困り感に寄り添い、必要に応じて担任や他の教職員が教育相談を行います。また、様々な相談機関を紹介しながら、困ったときには助けてもらう「援助要請」の重要さの指導を継続します。

お子さんは、積極的に体を動かしたり、運動をしようとしていたりしている。(保1)		46.0	33.6
低	たいいくのじかに、すすんでうんどうをしている。(保1)	88.5	8.4
中	体育の授業で、めあてをもって取り組んでいる。(保1)	73.1	17.3
高	体育の授業で、自分のめあてを達成するために、工夫して取り組んでいる。(保1)	53.3	39.2

昨年度の前期に比べ、保護者の肯定的な回答は少し減少しましたが、児童の回答は昨年度の前期と大きく変わることなく、すべての学年で9割を超えています。体育専科が導入された2年目を迎えたことや、体力テストの2回実施が定着したことで、進んで体を動かし、目当てをもって取り組むことができていると考えられます。学校では、引き続き体育の授業の質の向上とお子さんの体力向上に努めます。

ご家庭では、早寝・早起き・朝ごはん等、お子さんに正しい生活習慣を身に付けるための声掛け等を行なっている。(保2)		42.9	39.8
低	はやね・はやおきをしてあさごはんをたべている。(保2)	56.2	28.1
中	早寝・早起き・朝ごはんをいしきするなど、きそく正しい生活をしている。(保2)	51.9	32.7
高	早寝・早起き・朝ごはんなど、正しい生活習慣を意識して過ごしている。(保2)	43.5	34.8

昨年度の前期に比べ、保護者の肯定的な回答は約8%減少しました。また、生活リズムチェックシートでは、「早寝早起きできた」に×を付ける児童が増えました。適切な睡眠時間や朝ごはんは、お子さんの体や心の成長に不可欠です。
学校では、なぜ睡眠や朝ごはんが大切なのかを発達段階に合わせて指導いたします。ご家庭と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」を推進していきたいと思えます。

お子さんは、家庭でも身の回りの整理整頓を意識して過ごしている。(保3)		42.4	37.2
低	つくえやロッカーのなかをきれいにしている。(保3)	59.4	33.3
中	机やロッカーの中をせいりせいとんしている。(保3)	63.5	22.1
高	整理整頓の大切さを理解して生活している。(保3)	63.0	28.3

昨年度の前期に比べて、ご家庭の回答には大きな変化はありませんでした。児童の回答は、保護者の回答に比べて肯定的な回答が高いです。児童には、学校で整理整頓しているかを尋ね、保護者には家庭での様子を尋ねている違いがあります。家庭での整理整頓は自分の仕事と認識していないことも考えられます。
学校では、家族の一員としての在り方の指導や整理整頓の定期的な声掛けを継続していきます。

※保護者の皆様への質問はありません。

低	がっこうには、テレビやボールなど、ペンぎょうにひつようなどうぐがそろっている。(事2)	78.2	17.7
中	学校には、テレビやボールなど、勉強にひつような道具がそろっている。(事2)	76.9	21.1
高	学校には、テレビやボールなど、学習に必要な道具が整っている。(事2)	82.6	14.2

児童のみの回答になります。全ての学年で肯定的な回答が多く寄せられました。
今年度は、暑さ対策として6月からエアコンが使えるようになり、快適に学習できる環境になりました。後期も、引き続き限られた予算の中で、学習環境の整備に努めます。



後期の教育活動にも引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

